

鳥貴族(東 1:3193)

バリュエーション判断
強気 ⇒ **強気**
(2019.12.30)
目標株価
2,740 円 → **2,740 円**

取材:2020年3月24日

担当: 澤田 遼太郎

【非連結】 (百万円、%、円:Q/四半期、会/会社計画、予/エース経済研究所予想)

決算期	売上高	伸率	営業利益	伸率	経常利益	伸率	当期利益	伸率	EPS	配当
2020/7 2Q	17,410	-2	1,358	278	1,344	295	789	1,373	68	4.0
2018/7	33,978	16	1,681	15	1,613	13	662	-32	57	8.0
2019/7	35,847	6	1,190	-29	1,145	-29	-286	-	-	8.0
2020/7 会	34,605	-3	1,309	10	1,264	10	454	-	39	8.0
2020/7 予	34,700	-3	1,740	46	1,690	48	650	-	56	8.0
2021/7 予	36,300	5	1,990	14	1,930	14	1,200	85	104	8.0

【セグメント情報】	20/7期 2Q	【PER】	【財務指標】	20/1末
飲食事業	100%	18/7 33	BPS 625円	株価(3/25終値) 1,860円
		19/7 -	純資産 73億円	売買単位 100株
		20/7予 33	総資産 171億円	発行株数 11.6百万株
		21/7予 18	時価総額 216億円	PBR 2.98倍

<注目ポイント>

～ 全品 298 円均一の焼鳥居酒屋「鳥貴族」を日本全国に展開 ～

- ① 2020年7月期第2Qは売上高174億円(前年同期比▲2%)、営業利益13.6億円(同3.8倍)、経常利益13.4億円(同3.9倍)、当期利益7.9億円(同14.7倍)となった。台風や消費増税などが逆風となる中で既存店は堅調に推移したが、閉店が響いて減収となった。一方、アメーバ経営導入による原価及び販管費のコントロールが順調で、営業利益率が大幅に改善した。
- ② 売上高はほぼ計画通りだが、営業利益が大幅に想定を上回る好決算と見ている。
- ③ 第2Q(11～1月)の既存店売上高は前年同期比103.5%と、10月に始まった消費増税が逆風となる中で大変健闘したと評価している。
- ④ 新型コロナウイルスの影響が開始した1月下旬～2月でも好調に推移したが、自粛ムードが強まった3月以降の悪影響は無視できないと考えている。

目標株価 2740 円、バリュエーション判断を強気に据え置く

DCFに基づく再計算の結果、一株価値が2740円となったため、目標株価2740円、バリュエーション判断を強気に据え置く。

エース経済研究所では新型コロナウイルスの影響について、自粛ムードの強まった3月以降は無視できない影響が出ると考えており、春以降の月次動向に注目している。

会社計画が据え置きとなったことで、計算上は下期が赤字予算となるが、同社はアメーバ経営の浸透によって収益性が大きく改善している途上にあり、現時点では会社計画を上回る可能性もあると考えている。感染者数や政府の動向など、予断を許さない状況ではあるが、大きな成果を上げている同社の取り組みに期待している。

《アナリストによる宣言》

私、澤田遼太郎は本調査資料に表明された見解が、対象企業と証券に対する私個人の見解を正確に反映していることをここに証明します。

また、私は本調査資料で特定の見解を表明することに対する直接的または間接的な報酬は、過去、現在共に得ておらず、将来においても得ないことを証明します。

《利益相反に関する開示事項》

- エース証券株式会社(以下、エース証券)及びグループ会社は、本資料に掲載された企業の売買あるいは当企業に対し、引受、その他のサービスを提供する場合があります。
- 株式会社エース経済研究所(以下、ARI)は、エース証券との契約に基づき、エース証券への資料提供を一定期間、継続的に行うことに対し包括的な対価をエース証券から得ておりますが、本資料に対して個別に対価を得ているものではありません。
- また、銘柄選定も ARI 独自の判断で行っており、エース証券を含む第三者からの銘柄の指定は一切受けておりません。
- 執筆担当者、ARI と本資料の対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等: エース証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号

加入協会: 日本証券業協会

指定紛争解決機関: 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

■手数料等及びリスクについて

- 株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%の手数料(約定代金が100万円以下の場合、最低手数料2,750円)(税込み)が必要となります。
- 外国株式(中国株を除く)の取引には、国内の取引所金融商品市場における外国株券の売買等のほか、外国金融商品市場等における委託取引と国内店頭取引の2通りの方法があり、当該取引には、所定の手数料等(委託取引の場合は約定代金に対して最大11.0%(75,000円以下の場合・税込)の委託手数料及びその他現地手数料等、国内店頭取引の場合は所定の手数料相当額、等)をご負担いただく場合があります。
- 株式は、株価の変動により、損失を生じるおそれがあります。
- 上場有価証券等書面の内容をよくお読みください。
- 外国株式は、為替相場の変動等により、損失を生じるおそれがあります。
- 非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債)を当社が相手方となりお買い付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。
- 債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。
- 外国債券は、為替相場の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 商品毎(投信・外債含む)に手数料等及びリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客様向け資料をよくお読みください。

エース証券及びARI 免責事項等

- **当資料により株式・債券・その他金融商品(投信・外債含む)等の勧誘を行うことがあります。**本資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。また、株式・債券等の有価証券の投資には、「手数料等及びリスクについて」に記載のとおり、損失を生じるおそれがあります。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願い致します。
 - 本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて ARI が作成し、エース証券(以下、当社)がお客様にご提供いたしますが、当社及び ARI は、ARI が基にした情報及びそれに基づく要約または見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。本資料に記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更することがあります。
 - 本資料を利用した結果、お客様に何らかの損害が発生したとしても、当社及び ARI は、何らの責任を負うものではありません。
- ※(著作権等)・・・本資料に関する一切の知的財産権は、原則として ARI に帰属します。電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、本資料の無断転用、複製等を行わないようお願い致します。
- ※ 尚、出所記載なき資料は各種資料より ARI 作成。